

色 相 環

～167人の色を生かそう～



No. 10

横浜市立領家中学校

第 1 学 年

令和 4 年 1 2 月 1 6 日

時間が流れ、季節が巡り…



早いもので、今年も残すところあと半月ほどとなりました。

皆さんにとって大きな節目となった2022年。いろいろな人との出会いがあり、授業や学校行事、部活動などを通じた多くの新しい学びや経験があり、その一つひとつを通して皆さんは成長してきました。いつの間にか表情や言葉が少し大人びてきていたり、背がスッと伸びていたり。心も身体もぐんぐん育ちゆく今。皆さんとともに過ごすどの瞬間も大切に、愛おしく思います。この一年を心静かに振り返り、今後のさらなる成長に向けたよい準備ができますように。

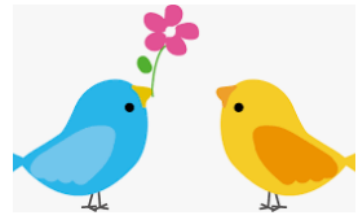
だれもが安心して自分らしくいられるために…

12月の人権週間にあたり、みんなで考えてみました。人権って何だろう？どの人もありのまま、自分らしくいられるってどういうことだろう？そのために、自分にできることはどんなことだろう…。

人は一人ひとり、みんな違います。見た目はもちろん、感じ方や考え方も。目に見えないものを「想像する」ことは、決して簡単なことではありません。単純なことではないからこそ、感じ考えて続けていくことが大切ですね。

道徳の時間に、一人ひとりが人権標語を短冊にしたためました。それぞれの「思い」に深く頷けたり、はっとさせられたり、温かい気持ちにさせられたりします。クラス代表作品を紹介します。

- ◇たったひとつの声が誰かを救う
- ◇「まあいいや」それで地球は壊れてく
- ◇言葉は氷より冷たく時にはキャンドルよりも暖かい
- ◇「女の子だから～」とか、「男の子だから～」とかじゃなくて「あなただから」に変えよう
- ◇言葉は人を生かすことも殺すこともできる



ローテーション道徳

9月中旬から学年職員がローテーションで道徳の授業を実施しています。各教員が内容と教材を決めて順に全クラスで授業を行います。すでに全クラスでの実践を終えたものから順に紹介します。

桜に集う人の思い ～新しい道徳P150～153～	授業者：塚本
D-20 自然愛護 C-12 社会参画 公共の精神	
私たちは自然とともに生きています。四季折々に魅せる自然の美しさは私たちの心を癒してくれます。しかし、人間は自分たちの都合を優先し、自然環境を破壊していることが少なくありません。自然と共存していくためには、自然への人間の心遣いが必要です。人の存在も自然の中の一部であることを意識して、自然を大切にしましょう。自分たちの周りにある自然に目を止めてみましょう。また、桜の花には様々な種類、個性豊かな美しさがあります。私たちも個性豊かに生き生きと生活し、お互いの美しさを認め合えるようになりましょう。	
「看護する」仕事 ～新しい道徳P80～84～	授業者：中村
C(13) 勤労 D(19) 生命の尊さ	
普段、何気なく口にする「仕事」という単語。「仕事って何だろう?」「いきいきと仕事をするって何だろう?」仕事には、喜びだけでなく厳しさもあります。また、今が将来とどのようにつながるかを考えていきましょう。	

